

< 事業報告 >

詳細は21年度活動報告書参照。

1. 会議体関係

- ・5月の理事会、総会、対外加盟団体の県レク理事会・評議員会等、いずれも書面方式で実施。
10月の理事会も書面方式で実施。

2. 主催・主管イベント

(1).オリエンテーリング大会の開催

- ・当初計画に対し4月の白石島大会は2年連続中止となった。
諸般の事情からパークOは実施せずフォレストの3大会開催のみになった。参加者総数は個人158名、Gr23組60名と前年度6大会の個人276名、Gr51組144名よりも大きく減少した。
ただ、当該3大会のみでは昨年度を含め増加傾向にあり、コロナ禍での野外スポーツ指向がうかがわれる。

(2).その他イベントの開催

- ・コロナ禍のため年度計画に入れてなかった。

3. 協力イベント

- ・コロナ禍のため依頼が無かった。

4. その他の取り組み

- ・大会開催に合わせたのOMAP作成整備(マーキング含め延べ8日、前年は10日)と減少した。
- ・全日本リレー(滋賀県)は22年6月に延期となった。
- ・ねんりんピック岐阜2021への選手派遣は県、岡山市合同チームを派遣予定であったが中止になった。
- ・競技者登録、認定指導者の更新登録およびスポーツ安全保険加入事務は引き続き対応した。
- ・近畿OL連絡会の大会開催日程調整に引き続き参画した。
- ・資産の維持管理、情報収集と広報等含め事務局定例業務は通常通り実施。
- ・閑谷学校からパーマネントコースの整備を依頼され施設と打ち合わせ後調査したが1回調査に留まった。
- ・競技用ユニフォームの希望者を募り年度末に発注した(7名分)。会員は協会が費用の2割を負担する。
- ・EMIT機材の6割キャンペーンを受け、E-Card75枚、C/Yunit30ヶの交換をした。結果事後の大会での読み取り不良がゼロと大きく減少し計セン負担とCS向上に寄与できた。

< 会計報告 >

詳細は21年度収支決算報告書参照。

・収入

大会参加費4.5万円増、および謝金増などで期首計画より約6万円増。

・支出

EMIT機材交換に伴う約66.5万円(当初予算19万円)が大きく影響し約36万円のマイナスになった。

他の支出項目はほぼすべて予算を下回り問題なし。

< 総括 >

- ・イベント参加者総数は前年より約4割減ったが、前年の6大会から3大会に減ったことを考えるとやむを得ない。ただ当該大会のみの比較では増加傾向にありコロナ禍で渴望されていることがよくわかる。唯一減った由加山大会はインカレミドル&リレーと重なった要素が大きく日程変更すべきだった。
- ・収支はEMIT機材の大量買い替えで大きくマイナスになったが、メリット面を考慮すると一時的なマイナスはやむを得ない。
- ・活動を通じての相互の意思疎通、仲間意識の向上などにつながる対話、親睦の場、時間などが制約されて十分でなく今後の課題である。
- ・ウイズコロナが受け入れられつつあるようであり来年度はパークO、基本技術講座を再開したい。